

今、何故石炭か？ —石炭利用技術の最前線—

《 講 師 》産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門
新燃料グループ長 斎藤 郁夫 氏

近年のアジア地域の急速な経済成長に伴うエネルギー需要の増大と原油価格の高騰を背景に世界的な石炭需要の増加が見込まれる中、世界最大の石炭輸入国である日本において、海外炭の安定供給を確保する観点から我が国の炭鉱技術海外移転事業は高い評価を得ています。一方で、地球温暖化の原因となる二酸化炭素や大気汚染物質、石炭灰の発生量を低減し、環境への影響を軽減して石炭を利用する技術（クリーン・コール・テクノロジー）の開発・普及が急務となっています。

今回のセミナーでは、「石炭利用技術の最前線」をテーマに我が国のエネルギー政策における石炭の位置づけ、地球温暖化防止とエネルギーの安定供給確保を目指す石炭利用技術の今後の展開について地域の皆さまと一緒に考えたいと思っております。

と き：
平成19年 **2/27** (火)
午後4時30分から午後6時まで

ところ：
釧路公立大学2階 202視聴覚室
(釧路市芦野4丁目1番1号)

《講師略歴》

1975年東北大学大学院理学研究科博士課程修了
1976年通商産業省工業技術院公害資源研究所研究員
1987年新エネルギー・産業技術総合開発機構主任研究員
1991年資源環境技術総合研究所エネルギー資源部燃料物性研究室長
2001年産業技術総合研究所エネルギー利用研究部門新燃料開発研究グループ長
2004年より現職

参加料は無料ですが、参加をご希望の方は事前にお申し込みください。

《参加申し込み・お問い合わせ先》

釧路公立大学地域経済研究センター
電話 0154(37)5325 Fax 0154(37)5376
E-mail r-center@kushiro-pu.ac.jp